

Amusement Japan

シンガポール視察研修のご案内

**インバウンド先進国でビジネスのヒントを探る
日本版 IR 開業&観光客増加のチャンスをつかむために！**



統合型リゾート(IR)の開業以降、遊技業界でも多くのホール企業、組織団体がシンガポールを訪問しマリーナベイサンズ、リゾートワールドセントーサ内を見学しています。

しかし、ほとんどのホール企業にとって、日本版 IR の運営事業体に参画できる可能性は極めて低いことを考えると、視察すべきは IR 施設の「外側」ではないでしょうか？

日本に IR ができたとき、IR の周辺にあるどのような業種が活性化するのか？ 外国人訪問者が増えたとき、その都市にはどんなニーズが生まれるのか？ ゲストに IR の外側に出てきてもらうためには何が必要なのか？

そのヒントは、2007 年から 2012 年にかけて急成長したシンガポールの観光産業にあるはずです。

そこで、アミューズメントジャパンは、「IR の外側を見る」をテーマにしたビジネス視察研修を企画いたしました。当時、シンガポールの観光産業で業界の拡大を目の当たりにしていた方々を講師に招いた、貴重な講演も用意しています。

株式会社アミューズメントプレスジャパン
出版事業部 統括部長 田中 剛

研修内容(予定)

(1) 事業者・識者によるレクチャー

	<p>K.ティルー氏 James Cook University Singapore 教授 教授の専門はシンガポールでは数少ない「ツーリズム&ホスピタリティ産業マネジメント」および「ラグジュアリーツーリズム・マーケティング」。 ＜テーマ＞ シンガポールの観光産業はどうやって成長したのか？ インバウンドを拡大するための日本の課題は何か？</p>
	<p>ジョン サルテイン氏 Hospitality Resource Solutions オーナー&MD 同社はホテル業界ベテランのサルテイン氏が立ち上げた客室クリーニング事業会社(IRからも受注)。 サルテイン氏はシンガポールの大型ホテル Mandarin Orchard Hotel(1200室)の元ゼネラルマネジャー。 ＜テーマ＞ 2007年～12年にシンガポールで何が起こったのか？ ツーリスト増加でホテル産業に起こった問題と、それを解決する独自手法“PROCESS COMPRESSION”とは？</p>
	<p>イアン シム氏 1-Altitude ゼネラルマネジャー (One Group/シンガポールで最も成功しているナイトクラブ 1-Altitude を経営するF&B企業) シム氏は2009年の店舗開設準備プロジェクトに参加し開業後にはGMを務めている。 ＜テーマ＞ ツーリストの消費を増やすために必要なナイトエコノミーの成功事例を「ライフスタイル・デスティネーション」を標榜するF&B、クラブから学ぶ。</p>
	<p>アンドリュー・チャン氏 ACI HR Solutions ファウンダー & CEO 同社は観光・旅行・ホスピタリティ産業のエグゼクティブサーチ(幹部対象の人材紹介)および人事・人材トレーニング会社。アンドリュー氏は業界カンファレンスでは人気の講師。IR開業準備中のシンガポールでは、2つのIRに対して人材面のサポートを行っていた。IR開業前と開業後のシンガポールの変化、IR周辺で活性化した産業についてレクチャーしていただく。</p>

※上記事業者・識者の中から3人～4人を予定。最終確定しているものではありません。

(2) 基礎講義

	<p>田中 剛 Amusement Press Japan 執行役員出版事業部統括部長 広告代理店、マーケティングリサーチファームを経て、2000年、遊技業界専門誌「アミューズメントジャパン」に参画。07年～14年編集長、15年1月より現職。アミューズメント、レジャー領域の取材の傍ら、世界8カ国12都市のカジノ・IRを取材。17年 Japan Gaming Congress にスピーカーとして登壇。17年発刊『日本版 IR の全貌』にインタビュー記事掲載</p>
---	---

- ◆IRの立地とシンガポール中心部の地形・交通網の理解(担当/APJ 田中)
～IRと街はどのようにつながっているのか=2次交通の重要性
- ◆シンガポールの観光産業拡大とゲーミング産業の理解(担当/APJ 田中)
～カジノを理解するために見るべきポイントもレクチャー

(3) 視察 中心部エリア

- ◆マリーナベイサンズ(統合型リゾート) ……視点:IR客を「街に出す」ための仕掛けは?
- ◆マリーナスクエア(ショッピングセンター)
- ◆サンテックシティ……視点:コンベンションとSC、ホテルなどの機能が統合されている地区
- ◆ラッフルズホテル(有名な高級ホテルであり観光スポットでもある)
- ◆マーライオン広場(観光スポット)……視点:IR客を「街に出す」ための仕掛けは?
- ◆ボート キー(リバーサイドにカフェやレストランが並ぶ観光スポット)
- ◆クラーク キー(政府による再開発で生まれたF&Bが集積する観光スポット)
- ◆1-Altitude(ワンアルティテュード) ルーフトップ バー(ゲストの6割がツーリストの絶景バー)



中心部の商業ビル One Raffles Place の最上階にある「1-Altitude」からの眺め

(4) 視察 セントーサ島エリア

- ◆VIVO CITY (シンガポール最大級のショッピングセンター)
- ◆リゾートワールドセントーサ(統合型リゾート)
- ◆セントーサ島のビーチ

セントーサ島へのアクセスは、徒歩、クルマ、モノレール、ケーブルカーがあります。多様なアクセス手段があることで、IR 施設内とその外側との回遊が生まれます。これを理解していただけるよう、カジノ内よりも「交通網」に重点を置いた視察をご提案します。

※来訪者が域内で回遊し消費してくれるかは2次交通の充実が非常に重要です。

(5) 下記は自由行動時間で、各自のテーマに即してご視察ください

夜、もしくは最終日に設ける自由行動日に各自で選択していただくのがよいと思います。

- ◆シンガポールフライヤー……世界最大、30分間の空中遊覧を楽しめる観覧車
- ◆ナイトサファリ……シンガポールが世界に誇る夜の動物園
- ◆ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ……MBS 開業後にマリーナベイに作られた植物園、大人気の観光スポット
- ◆カジノ

参加費用 20万円／1名様 ※消費税は不要です。

- 上記研修費用には**渡航費・宿泊費・食費を含みません。**
- 研修は現地でご提供するもので、**現地集合・現地解散**となります。
- **各自ホテル・航空券を手配し**シンガポールにお越しください。
- ただし、右記料金は研修費に含んでいます:ケーブルカー／1-Altitude ルーフトップ入場料／STELLAR 昼食代／Music Club 入場料
- 研修ご提供時間には原則としてサポーター(通訳・案内)が随行いたします。

研修日程 4月23日(月)～26日(木)

- シンガポールには**4/23(月)朝まで**にご到着ください。
- シンガポール入国には、出国時に**6カ月以上**のパスポート残存期間が必要です。ビザは不要です。
- 4/24～27にシンガポールの Suntec コンベンションセンターで大規模なイベント「HOTEL ASIA」が開催されるので早めの予約をお勧めします。

【スケジュール(案)】

日	行程(仮)
4/22 (日)	日本出発 午前⇒夜 〔例〕羽田空港 11:05⇒ チャンギ空港 夕方着
1日目 4/23 (月)	09時 座学研修(担当/田中) TKP 会議室 午後 中心部視察(MBS～SuntecCity など) 夕方 マーライオン広場 *MBSを見る ～20:00 夜 ナイトエコノミー視察:クラークキー ～21:00 現地解散
2日目 4/24 (火)	午前 現地事業者訪問 (James Cook Univ. ティルレー教授) 移動 VIVO CITY から Sentosa Express で お昼 RWS:マレーシアンフードストリート 午後 セントーサ島視察 移動 ケーブルカーで VIVO CITY へ戻る 夕方 1-Altitude Roof Top Bar *MBSを見る ～20:00 現地解散
3日目 4/25 (水)	午前 展示会「HOTEL ASIA」(Suntec Singapore コンベンション) お昼 現地事業者訪問 (STELLAR/1-Altitude) 15時 現地事業者レクチャー (ACI HR Solutions) TKP 会議室 夕方 クラークキーからリバークルーズ 夜 ナイトエコノミー視察:Music Club ～20:00 現地解散
4日目 4/26 (木)	午前 展示会「HOTEL ASIA」(Suntec Singapore)or 自由研究 午後 自由研究 17時 現地事業者レクチャー (HRS) TKP 会議室 ～18:30
4/27 (金)	チャンギ空港発

【お申込み】

- 別紙の参加申込書を **3月23(金)まで**に FAX にてお送りください。
- 研修参加費用は **4月12日(木)まで**にお振込みください。※消費税は不要です。
- 最少催行人数は、開催4週間前(3月26日)の時点で **10人**とさせていただきます。また参加者数の上限は20人とさせていただきます(応相談)。

<本件のお問合せ先>
 株式会社 アミューズメントプレス ジャパン
 担当/田中・桑川(くめかわ)
 Mail info@amusement-japan.co.jp
 TEL 03-5447-0555

